

環境学委員会及び健康・生活科学委員会の合同分科会の設置について

分科会等名：環境リスク分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 健康・生活科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員または連携会員
3	設置目的	<p>環境リスク分科会は、わが国における環境リスク評価・リスク管理およびリスクコミュニケーションを含む科学的なエビデンスに基づいた意思決定のための諸科学の発展、アジア諸国をはじめとする諸外国との国際協力促進、専門家育成を一層図ることなどを目的として設置された。</p> <p>22期には提言「環境リスクの視点からの原発事故を伴った巨大広域災害発生時の備え」を作成した。23期は、我が国でレギュラトリーサイエンスの考え方を普及させるための報告書を作成した。24期では、海洋プラスチック問題を取り上げ、提言を作成した。また、半世紀余りの公害病との闘いをアーカイブ化し、「学術の動向」2019年10月号に特集を組んだ。25期はこれらを中心にe-bookとして編集し、世界が我が国の公害への対応を学ぶ機会をつくる。同時に現在抱えている環境リスクについて審議し、提言を作成する。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在抱えている環境リスク 2. 24期提言の英文化 3. 半世紀余りの我が国の環境リスクへの対応を世界に向けて発信 (Overcoming Environmental Risks to Achieve Sustainable Development Goals. Lessons from the Japanese Experience)に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日～令和5年9月30日
6	備考	